

中 中学社会 公民的分野
(公民 116-92)
拡大版 [22P]
(全6分冊) ㊦

拡大版 [22P] (全6分冊)



B5判 22P 公民



1 王様の政治

けんりよく
権力は私たちの自由をおびやかすおそれがあるね。



42-1



まんがのようなことが起こらないようにするためには、どうしたらよいだろうか。



42-2

? 第1節の問い

なぜ法に基づいて政治が行われることが大切なのでしょう
か。

2 法に基づく政治と憲法^{けんぽう}

! 学習課題



なぜ立憲主義による憲法は必要なのでしょう
か。



🔍 見方・考え方

個人の尊重 法の支配

立憲主義の憲法について、個人の尊重と法の支
配に着目して理解しましょう。

42-3

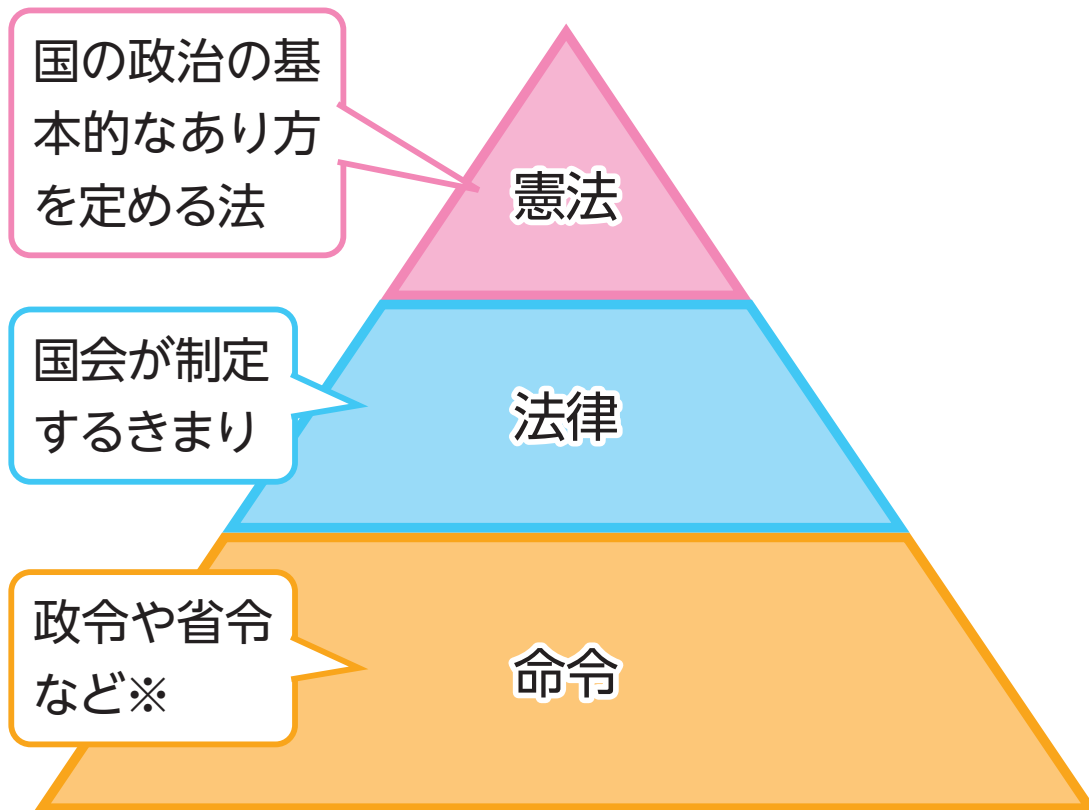
けんぽう 憲法とは

国の政治の基本的なあり方を定める法を憲^{けん}法^{ぽう}とといいます。よりよい民主政治を実現するためには、基本的人権^{じんけん}の尊重^{そんちよう}など、私たちがともに生きていくうえで大切にすべき原則を明らかにして、それを政治権力が守るしくみをくふうしなければなりません。このような憲法に基づいて政府をつくり、政治を行うことにより、権力の濫用^{らんよう}①を防ごうとする考え方を立憲主義^{りっけんしゅぎ}とといいます。

立憲主義の実現のために、多くの国で、憲法は国の最高法規^{さいこうほうき}②であるとされています。憲法の改正には慎重^{しんちよう}な手続きが定められ、憲法に違反^{いはん}する法律^{ほうりつ}や命令は効力をもちません。このように、立憲主義に基

42-4

づいて、人権の保障^{ほしょう}や権力分立を定める
憲法を、立憲主義^{りっけんしゅぎ}の憲法^{けんぽう}③といます。



※法律^{じっし}を実施するために内閣^{ないかく}が定めるきまり(政令)。法律や政令を実施するために大臣が定めるきまり(省令など)。

② 法の構成

上位の法になるほど、強い効力をもち、下位の法が上位の法に反するときは無効になります。憲法は最高位の法です。

42-5

個人の尊重と人権の保障

民主政治の目的は、私たちがたがいに協力し、一人一人の幸せを実現することにあります。そのためには、政治においては、一人一人が^{そんげん}尊厳のある人間として等しく^{はいりよ}配慮され、その個性が尊重されなければなりません。これを^{こじん}^{そんちよう}個人の尊重とといいます。そして、私たちが人間として自分らしく生きるために必要な権利(^{きほんてきじんけん}基本的人権)が保障されなければなりません。そのため、基本的人権は憲法によって保障され、法律によってもうぼうことができなるとされています。

法の支配と権力分立

権力をもつ人の好みや思いつきで政治権力

42-6

43-1

が行使されると、私たちは安心して自由な生活を送ることができなくなります [1] [5]。また、その場合、自分と他の人との異なる^{こと}取りあつかいを、理由のない不公平なものであると感じるでしょう。政治権力が公平に行使され、私たちの自由が守られるためには、あらかじめ定められた^{ほう}法に基づく必要があります。このように、権力をもつ人もまた法に^{したが}従わなければならないという考え方を^{ほう}法の^{しはい}支配 (⇒ [260-0] ページ) [4] といいます。

権力が集中して強大になると、法が守られず、私たちの自由がおびやかされる^{きけん}危険があります。そこで、権力を^{ぶんかつ}分割し、たがいに^{よくせい}抑制と^{きんこう}均衡をはかるくふうがされています (権力分立⇒ [84-0]、[112-0]、[260-0]

[43-2]

ページ)。そのなかで重要なものの一つとして、今日では多くの国で、法律や命令などが憲法に違反していないかを、^{さいばんしょ}裁判所が判断するしくみがとられています(➡ 105-0 ページ)。法の支配や権力分立は、基本的人権を守って、よりよい民主政治が行われるようにするために、憲法が定める大切なしくみです 6。



すべて権力をもつ者はそれを^{らんよう}濫用しがちである。彼は^{かれ}極限までその権力を用いる。それを防ぐには、権力が権力を^{よくせい}抑制するように^{あんばい}按配することが必要である。


5 モンテスキュー 『法』の精神』

資料活用 裁判所と議会が同じ権力になると、何が起こるかを考えましょう。

43-3

第1章	てんのう 天皇
第2章	戦争の放棄 ほうき
第3章	国民の権利及び義務 けんりおよ
第4章	国会
第5章	ないかく 内閣
第6章	司法
第7章	財政
第8章	地方自治
第9章	改正
第10章	最高法規
第11章	ほそく 補則

6 日本国憲法の構成

 **資料活用** 基本的人権の保障と権力分立（権力の制限）は、憲法のどの章で定められているでしょうか。

43-4



立憲主義とは何だろう

権力をもつ人も法に従わなければならないという「法の支配」は、憲法に基づいて政治を行うことで権力の濫用を防ごうとする「立憲主義」と密接な関係にあります。

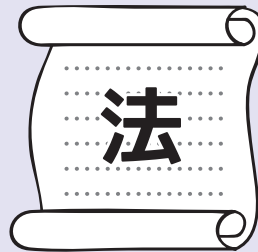
- ① **4** は、それぞれだれが法を制定しているのでしょうか。
- ② 憲法で、国会議員や公務員に憲法を尊重し^{よう}擁護^ごする義務(第99条)を負わせている理由を説明しましょう。
- ③ もし民主主義によって個人の尊重を損なう可能性がある場合の、憲法の^{やくわり}役割を説明しましょう

わしの言うことを
聞かないと
刑務所に入れるぞ



国王・君主・どくさいしや独裁者

法を制定



けんりよく政治権力

何をされるか
わからないので
何も言えない

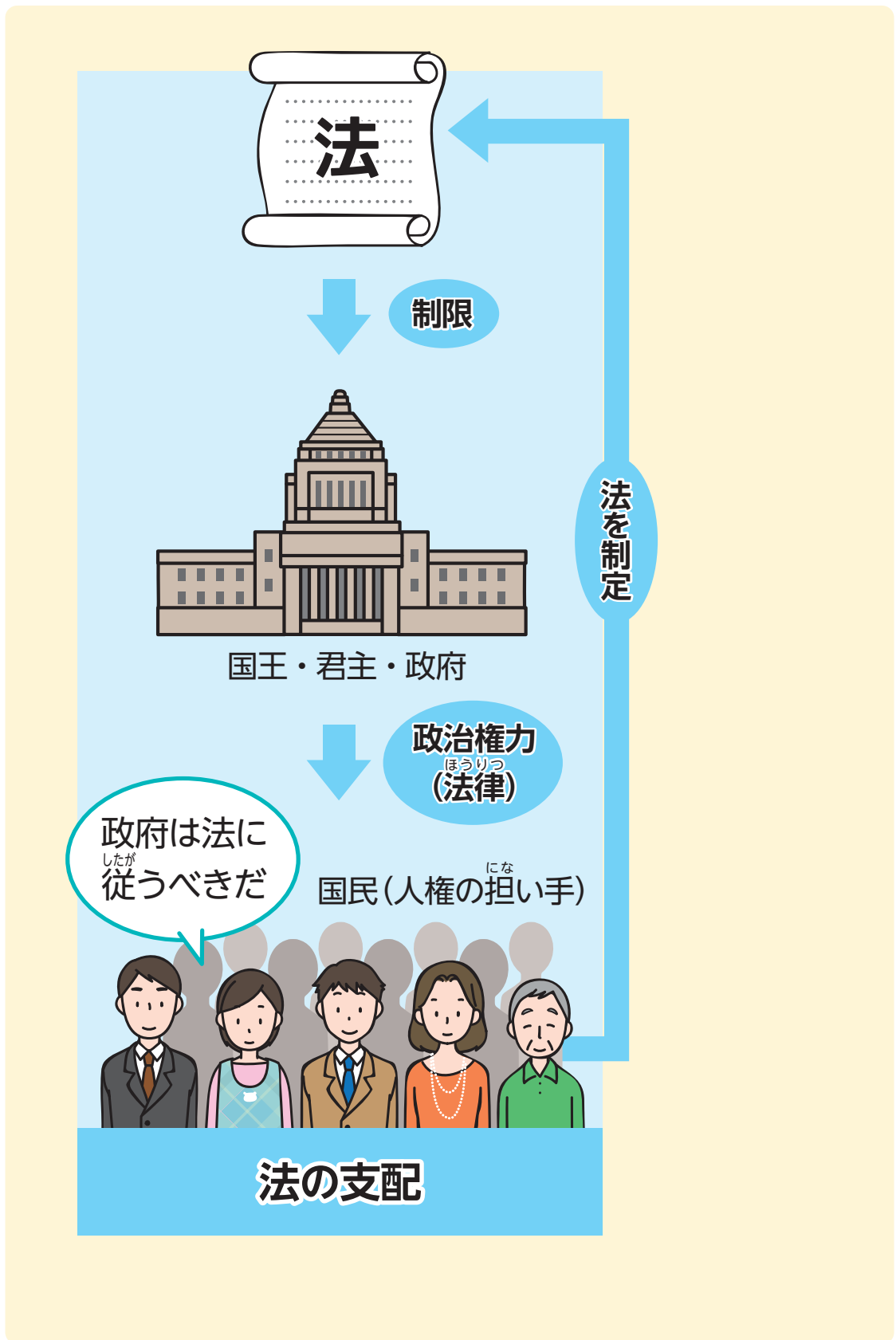
国民



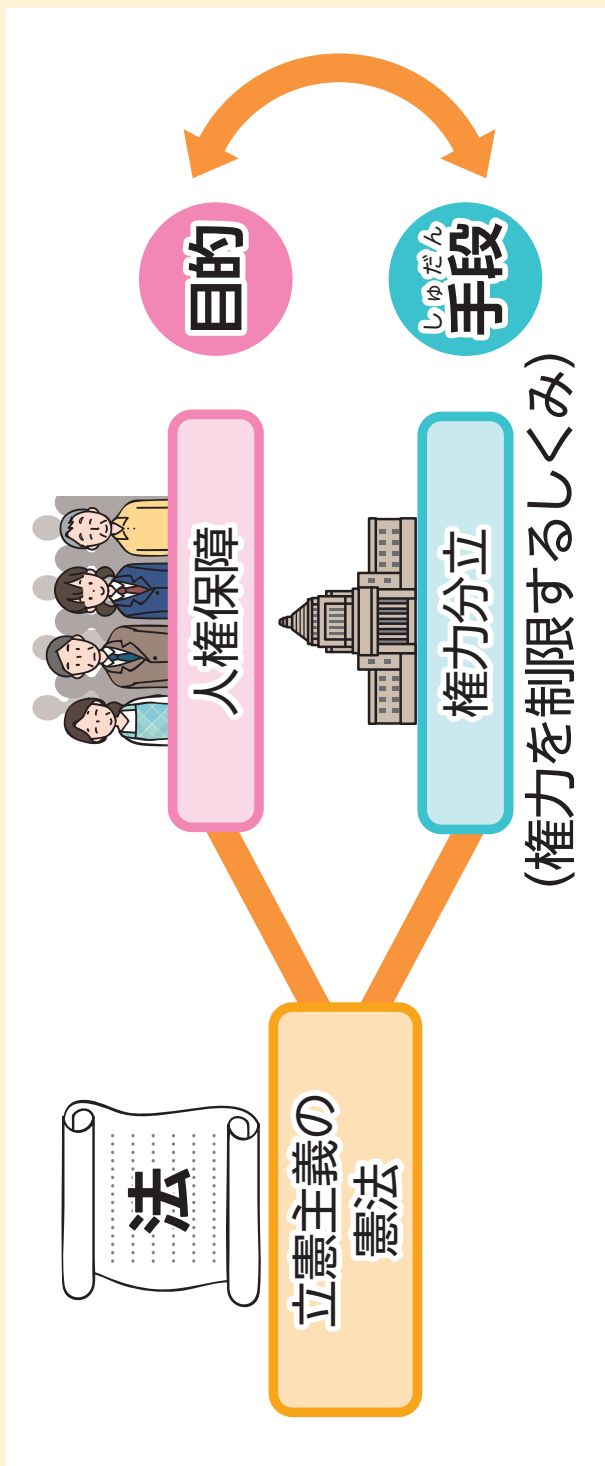
人の支配

4 人の支配と法の支配


43-6



43-7



3 立憲主義の憲法

 **歴史** 立憲主義の憲法と十七条の憲法で、ちがうところは何でしょうか。

 **確認**

立憲主義とは、どのような考え方が本文からぬき出しましょう。

 **表現**

民主政治で、法の支配と権力分立が大切な理由を説明しましょう。

第3節

金融のしくみとお金の大切さ

? 第3節の問い

金融のしくみは、私たちの生活とどのようにかかわっているのでしょうか。



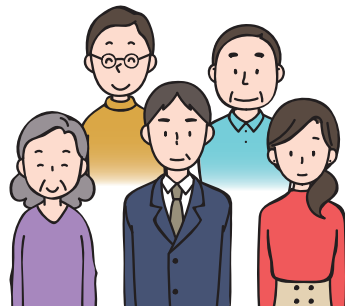
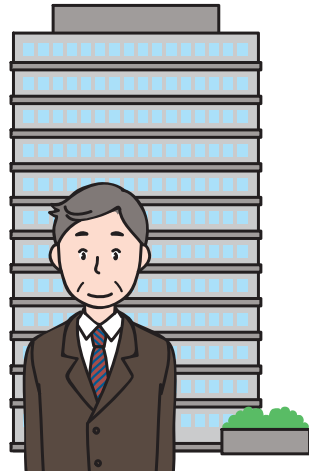
162-1



1 銀行の窓口 まどぐち

(2019年、
ふくおか やめ
福岡県八女市)

よゆう
お金に余裕が
きぎょう
ある家計・企業

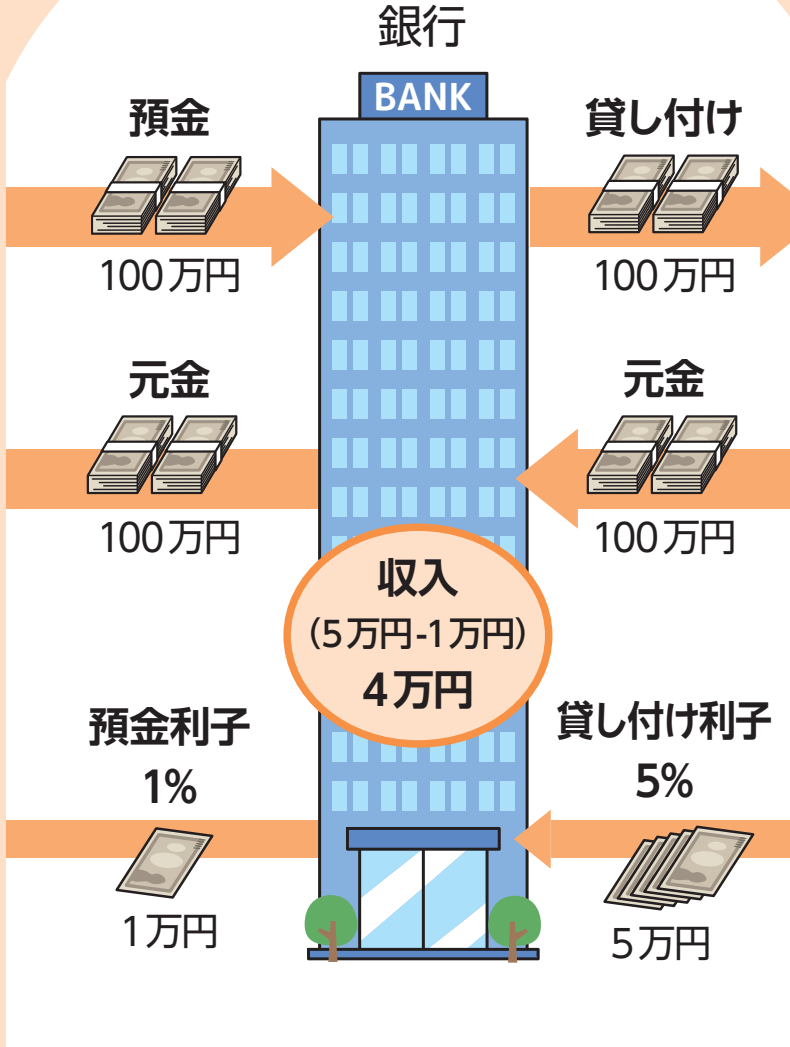


2 金融の役割 やくわり

私たちが銀行に預けた後のお金はど
うなるのだろう。



きんゆう
金融



お金を必要と
している家計・企業



162-2

1 金融のしくみ

🔔 学習課題



金融とは何でしょうか。どのようなしくみとはたらきをもつのでしょうか。



🔍 見方・考え方

希少性

お金の貸し借りの意義を、希少性に着目して理解しましょう。

162-3

きんゆう 金融とは

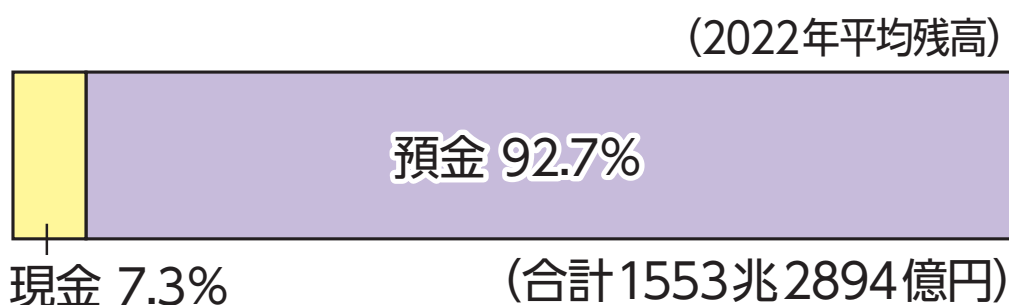
私たちは、会社などで働いて賃金^{ちんぎん}をお金で受け取り、財やサービスと交換^{こうかん}し消費生活を送っています。ほとんどの人にとってお金は希少ですから、思うような消費をするにはお金が足りず買い物をあきらめなければならぬことがあります。もしお金が足りないときでも、人から借りることができれば思うような買い物ができます。

私たちの社会には、一時的にお金に余裕^{よゆう}のある家計や企業^{きぎょう}がある一方で、住宅^{じゅうたく}や機械を買うためのお金が不足している家計や企業もあります。これから起業をしたいベンチャー企業もお金は不足しているでしょう。余裕のあるところと不足している

162-4

ところとのあいだで、お金を貸し借りすることを^{きんゆう}金融②といます。(👉📱リンク)

金融によって、不足していた家計は住宅を買え、企業は新しい機械を手に入れて生産を増やし、ベンチャー企業は起業することができるようでしょう。ただし借りたお金は後で借りた金額(^{がんきん}元金)に^{りし}利子(金利)をつけて返さなければなりませんから、家計も企業も^{しょうらい}将来返せる^{みこ}見込みがなければなりません。



③ 日本の通貨の構成比率

(「マネーストック統計」2022年)

162-5

中央銀行		日本銀行
民間金融機関	ふつう 普通銀行	都市銀行、地方銀行、 ゆうちょ銀行 など
	協同組織 金融機関	信用金庫、労働金庫、 信用組合 など
	農林水産 金融機関	農業協同組合、 漁業協同組合 など
	保険会社	生命保険会社、 損害保険会社 など
	証券会社	証券会社 など
公的金融機関		日本 ^{せいさく} 政策金融公庫 など

④ 主な金融機関

162-6

金融商品のリスクとリターン

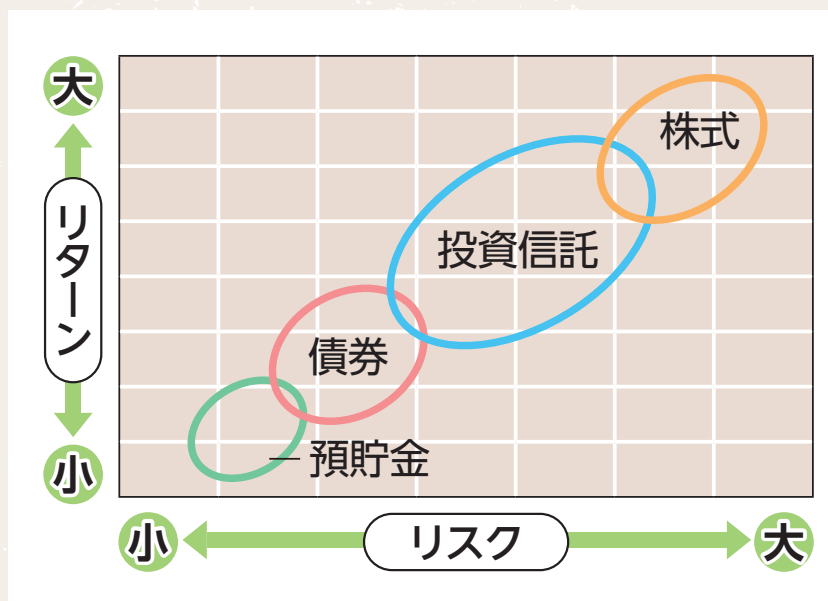
家計や企業は、預金以外にも、株式や債券などの方法で金融機関や企業へお金を貸し出すことができます。これらの金融商品は、配当や金利などによる収入^{しゅうにゅう}を得ることを目的に買われます。

⑥からは、これらの金融商品は金利の大きさにちがいがあることがわかります。収益^{しゅうえき}(リターン)が大きくなるときは、結果がわからない不確実な状態(リスク)の幅^{はば}が大きいといえます。「確実にお金を大きく増やすことができる」金融商品など、存在^{そんざい}しません。

リスクを小さくするには、投資先を分散させることが効果的だといわれています。この考えは「一つのカゴに卵^{たまご}を盛^もるな」という例えが使われます。

債券	国債	国が発行する借用証書。 元本保証あり。
	社債	企業の借用証書。企業の 倒産リスクがある。
株式		株式会社の資本を細分化 した証書。
投資信託		株式や債券の投資を専門 家が運用する。

5 主な金融商品

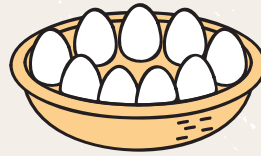


6 金融商品のリスクとリターンの関係 (日本証券業協会資料)

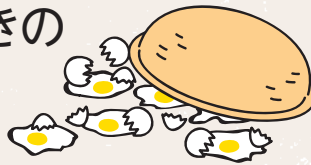
163-2

集中投資

一つに集中して
投資すると



値下がりのときの
損失が大きい

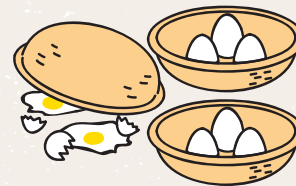


分散投資

分散して投資すると



一つが値下がりしても
全体の損失が小さい



7 分散投資のイメージ

163-3

銀行のはたらき

金融は家計や企業の役に立ちますが、借りる相手や貸す相手を自分で探^{さが}すのは大変です。そのため、銀行^{ぎんこう} ① などの金融機関^{きんゆう きかん} ④ が両者のあいだに立って金融をなかだちします。私たちの多くは銀行に預金^{よ きん} ③ をしています。預金は、ATM(現金自動預け払い機^{あず ばら})を使って引き出すことで紙幣^{し へい}として返ってきますから、私たちが銀行に貸したお金だといえます。また、高価なものを買ったときなどは、私たちの口座から相手の口座に預金を移動させる振り込み^{ふ こ}という手段^{しゅだん}で支払いすることもできますので、預金も貨幣^{やくわり}の役割を果たしています。

間接金融と直接金融

銀行は、預かったお金を事業資金として企業に貸し付けたり、個人が住宅を買うときに貸し付けたりします。金融には、このように家計や企業が金融機関をなかだちとして間接的にお金を調達するような貸し借りのしかたがあり、これを^{かんせつきんゆう}間接金融⑧とよびます。

その一方で、企業などの借手^{かぶしき}が株式や^{さいけん}債券①などを発行して直接貸し手からお金を調達するやり方もあり、これを^{ちよくせつ}直接^{きんゆう}金融とよびます。直接金融の場合は、貸し手が高い利子や配当を得られる可能性があるかわりに、貸し手は自分の責任で借手のことをよく調べなければ、元金もどっ

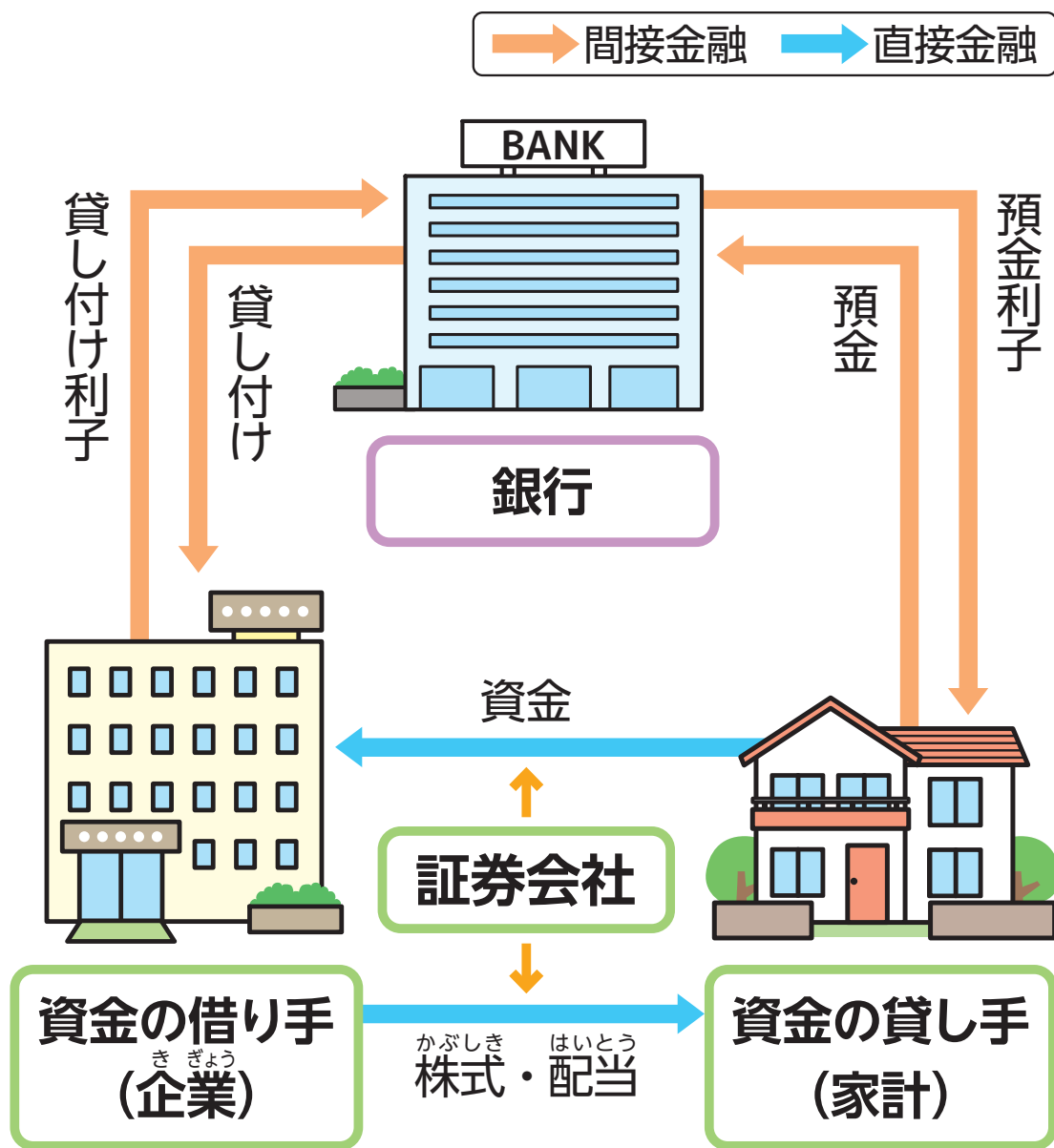
163-5

てこないこともあります **6**。

① 債券とは、お金を調達するために発行する返済期限が定められた証券で、社債(企業が発行)、国債、地方債などがあります。

163-6

13




⑧ 間接金融と直接金融

証券会社は株式の売買を^{ちゅうかい}仲介して、手数料収入を得ています。



シミュレーション

163-7

 **歴史** かまくら鎌倉時代にそうせん宋銭が広く使われるようになると、高利貸しが現れました。

 **確認**

金融とは何か、本文からぬき出しましょう。

 **表現**

直接金融と間接金融のちがいを説明しましょう。

163-8

15